



社会福祉法人 恩賜財団

霜月
月号

愛知県同胞援護会だより

第232号

平成19年11月15日発行



「見事な紅葉の下で。」

若草苑の利用者さんが香嵐溪へ紅葉狩り

目次

春緑苑.....	P.2~4	若草苑.....	P.11
第2春緑苑.....	P.5~6	サンホーム豊田.....	P.12
春日苑.....	P.7	春日井・豊田グループ.....	P.13~16
とよた苑.....	P.8~10		

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>
e-mail: douen@mc.ccnw.ne.jp

PTA車椅子磨き



▲あっという間にピカピカの車椅子に！

10月15日(月)、西藤山台地区のPTAの皆様が車椅子磨きのボランティアのために来苑されました。
毎年来ていただいているグループの皆様なので、大変細かいところまで手際よく、あっという間にピカピカに磨いてくださいました。
利用者の皆さんも綺麗になった車椅子に大喜びでした。職員一同も感謝しております。

10月6日(土)、神屋保育園の秋季運動会に招待され、出掛けてきました。
当日は日差しが強く少し暑いお天気でしたが、かわいらしい園児の皆さんが見られるということでもわくわくしながら車に乗って出発です。皆さんの踊りや競走のかわいらしい姿に思わず拍手や笑顔がこぼれ、「赤が勝ったね。」「惜しかったなあ。」と楽しそうにされており、いい気分転換の外出となりました。

みんな頑張ってる！

春緑苑



▲運動場を元気いっぱい走りまわっていました

みんな頑張ってる！！と大声援を送ります



利用者作品展

秋と感ずる俳句作品展

秋の葉を 拾ひ戻りぬ

神の留守

一村を 沈めしダム湖

秋の暮

秋深く 老いたる母の

下駄の音

柿吊し どの家も日差し

同じうす

利用者 竹内一豊さん作



▶利用者 高井正子さん作

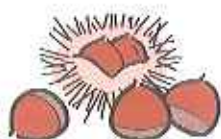
春緑苑行事アルバム



▶10月18日(木)レントゲン撮影を実施しました

●11・12月の行事予定

- 11月18日(日) 福祉のつどい参加
- 11月21日(水) 月例祭
- 11月29日(木) 誕生会
- 12月14日(金) 法人QC人会



地域包括支援センター

11月の介護予防教室の予定 「転倒予防と運動」

【日時】 11月22日(木)
14時～15時30分
【講師】 特別養護老人ホーム春緑苑
柔道整復師 徳地 優二氏
【会場】 東部市民センター
第2集会室
【定員】 30名
(定員になり次第申込み
締め切りになります)

【参加費】 無料



【申し込み先】

電話 (0568) 88-8303

FAX (0568) 88-7938

メール chiihokatsu@douen.or.jp
担当 水野、太田、加藤、寺井

スポーツの秋を満喫

シヨートステイ

10月8日(月)、雨天となり、急遽屋内での運動会に変更です。準備体操でしっかりと体を温め、いざ本番。パン食い競走では、ここまで大きく開くものなのか?と思

う程、皆さん口を大きく開けられ、パンを見つめる目は真剣そのもの。包んである袋に邪魔され、なかなか



▶スプーンリレー、綱張りノミ
庄屋にも熱が入ります

取れず苦戦する場面も見られました。また、職員による台車に乗ってのスプーンリレーでは、押しあい競いあう職員を見て、大笑い。体の芯からエネルギー溢れる運動会となりました。

グループホーム

お散歩がてら食料運び

グループホームでは、食事を利用者さんと職員が一緒に作っており、毎食の食事の材料を特養の厨房まで取りに行っています。

午前は10時30分頃と11時と2回に分けて昼食の食料を取りに行き、午後は3時半頃に夕食と翌朝の食料を取りに行きます。食料運びには、10名程の人が参加していただき、皆さんお買い物気分。苑から

ヘルパーステーション

和川名さんと「一緒に」

ホームヘルパーは利用者さんと一緒に行うことを念頭に、いつもケアに取り組んでいます。

例えば、Aさんは料理を作ることにがとでも好きな方です。でも手に力が入らないので、「材料を切る・材料を炒める」など、手に負担がかかることをヘルパーが行います。そして「味付け・盛り付け」などはAさん自身に行っていたことができます。ヘルパーが全てを行うことは簡単ですが、利用者さんのできることをヘルパーが行ってしまえば、残存機能、意思や、やる気までも消してしまいます。

Aさんからは「自分は何もできないのではなく、ヘルパーさんを利用することによって、自分の

特養厨房まで、歩道や道路脇を歩いて行きま



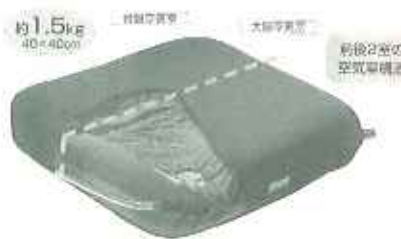
▲景色を眺めながら

福祉用具貸与事業所

快適・車いす用クッション

車いすに長時間座っている方におすすめなのが車いす用クッションです。空気を出し入れして身体にフィットさせることができ、3種類の素材を使って体をしっかりとサポート。伸縮性・通気性に優れているため丸洗いも可能です。

興味のある方、利用を希望される方はぜひご相談ください。



▲味ずれ防止効果と座位保持力抜群

新任職員紹介

(11月1日付)



サービス提供責任者
石川 悠子

きないこともできるようになったわ。」と、喜んでいただきました。今後も利用者さんが安心と自信に満ちた生活を続けられるよう、お役にたてるケアに取り組みしていきたいです。

デザイナーピス

すばらしい作品展

10月13日(土)〜25日(木)までアステイール高蔵寺市民ギャラリーで開催された利用者さんの手作り作品の展示会は、朝日新聞にも掲載され、大勢の方にご覧いただき大盛況に終わりました。「高齢になってもこんなにはすばらしい作品を作られ、楽しんでおられる姿はうらやましいです。」というご感想もいただきました。利用者さん、職員共々元氣付けられました。今後も心をこめた良い作品ができるよう頑張っていくしたいと思います。



▲皆さん興味深そうに

新任職員紹介

(11月1日付)



新職員 渡邊 祥子

訪問入浴サービス

腰痛対策にも心がけて

先月から訪問入浴を利用し始め

居宅介護支援事業所

気持ちの変化に気付く

ケアプランを作成する時は、
①利用者さんが今の生活の中で何に困っており、どのようにしたいと思ってみえるのか。
②ご家族は利用者さんをどのように介護され、どのような希望を持ってみえるのか。

この2点を基本にお聞きし、支援しています。人が生活を営む中では気分が上向いたり、沈んだりして考えが変わることもあり、また自分の考えをうまく相手に伝えることができない人も多くみえます。

私たちはそうしたこと踏まえ、言葉にならない思いと言葉の裏側にある気持ちをキャッチして利用者さんの生活にお役に立てるよう支援を心掛けています。

たKさんは前からひどい腰痛に悩まされています。

腰痛がひどいときに入浴の利用を希望されることもあり、浴槽のネットにバスタオルを一枚余分に敷くことで腰への負担を和らげるようにします。また血行が良くなることで痛みが軽減につながります。今では、「入浴の人が来てくれるのが楽しみだ。」と笑顔で答えてくれています。

ケアハウス春緑苑



秋晴れがまぶしい10月20日(土)、春日井まつりの童謡広場で器楽クラブ生11名が発表を行いました。日頃の練習の成果を発揮するため、いざ市民会館へ。月に2度の中岡貞智先生をはじめ

紙粘土創作展に出展

in 緑化植物園



▲梅田寿子先生(右後列)に月に一度教わっています

11・12月の行事予定

- 11月16日(金) 秋の行楽
- 11月18日(日) 横蔵寺・谷汲温泉ツアー
- 11月24日(土) 手作り品バザーで出店
- 11月29日(木) ワックス掛け
- 12月4日(火) 誕生会
- 12月中旬 サ予防接種
- 12月中旬 茶話会
- 12月中旬 合同もちつき大会
- 12月24日(月) クリスマス会



▲大舞台上で演奏を終えたホッと一安心

めとする森の会のボランティアさんのご指導を受け、大舞台にてにぎやかにハンドベルを鳴らしました。今回は3度目の出場のため緊張することなく、堂々とした面持ちで演奏を終えると、ホッとしました。皆さんお疲れ様でした。



▲今年のケアハウスのシンボル「にこちゃん」も登場

第2春緑苑

秋の健康診断を実施

10月29日(月)、利用者さんと職員との健康診断を行い、入院中や外泊中の方を除いた95名の利用者さんが受けられました。



▲レントゲン撮影7健診キョウ

予防接種も...

健康診断に続き、10月31日(水)、利用者さんと職員の第1回目のインフルエンザ予防接種を行いました。利用者の皆さんは各ユニットにて実施しました。

これからの季節は風邪も流行することが考えられます。予防接種をしたからといって油断せず、手洗い・うがいなど、できる範囲の予防は欠かさず行っていきます。▶痛くなかったよ



秋の味覚御膳を堪能

10月30日(火)、6月に続いて今月の誕生会もひと工夫。いつもと雰囲気を変えたお弁当風で、利用者の方々に好評でした。



▲「吾は人にさのこのみから、太学なるど、ま前のものが、たくとんあつてよかつたわ」と何とん流席



初めての運動会 ユニット対抗で盛り上がり

10月18日(木)に2丁目1・2番地合同で、運動会を行いました。玉入れゲームでは、新聞紙を丸めた玉を200個作ったのですが、皆さんが頑張ったおかげで足りなくらいでした。次のパン食い競争では、いつもは自分から動こうとしない方も、パンに向かって一生懸命申いすをこいだり、口でパンをくわえて走ったりする姿が見られ、皆さん思わず笑顔になっていました。障害物リレーは1・2番地対抗でしたが、2番地の優勝となりました。

職員リレー随想

今思うこと

第2春緑苑デイサービスセンター
副主任 木村香織

私が医療に携わり、早いものでもうすぐ20年になります。看護師として働きながら私を育ててくれた母の背中を見て、なんとなく看護の道を目指し、勉強ばかりの20代前半、高度医療に魅入られた20代後半を経て30代で福祉の道に入りました。福祉の世界は何もわからず、この世界でやっていけるのだ

●11・12月の行事予定

- 11月14日(水)・15日(木)・19日(月) バイキング
- 11月18日(日) 福祉のつどい
- 11月20日(火) 理美容
- 11月26日(月) 誕生会
- 11月28日(水) 第2回インフルエンザ予防接種
- 12月8日(日) 家族ボランティア

新任職員紹介(11月1日付)



看護職員 佐久本 登子



看護職員 伊藤 亜妃

第2春緑苑では今年初めての企画で利用者の皆さんに喜んでいただけるか心配でしたが、「案ずるより生むがやすし」のことわざどおり、皆さん子ども時代を懐かしく思い出され、好評を博しました。来年はさらに楽しい催しを企画します。利用者さん、ご家族の面白いアイデアも募集します。ご奮ってご参加ください。



▶このお披露も 皆さん 生懸命

デザイナーズ

玄関にロールピクチャーを飾りました

ロールピクチャーは、色画用紙を細長く切り、それを丸めたパイプ状のものを、下絵を描いた台紙に貼り付けて一枚の絵に仕上げているものです。利用者さんの手指機能の向上や心身の活性化を目的とし、そのADLや集中力のレベルに応じて作業に取り組んでいただいています。

作業療法のテーブルでは、仲の

細かい手作業
丁寧に



▲ロールピクチャーの
薔薇が咲き終わっています



▲ぜひ見に来てください

12月の福祉講座のご案内

「お口の健康について」

～元気で楽しい生活の維持のために～

【日時】 12月13日(木) 14時～15時30分

【講師】 森歯科医院 院長 森 道徳

【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター

【定員】 45名 (定員になり次第申し込み締め切りになります。)

【参加費】 無料

【申し込み先】 電話 (0568)56-9166 担当 田中、多治見、青山、河南



地域包括支援センター

いいお友達とおしゃべりしながら楽しく進められる方や、お一人で作業に集中され黙々と取り組まれる方などがいらっしゃいます。作品作りを通して新しいお仲間もでき、作品が完成した時の達成感、喜びを持っていただけるため、今後も新しい作品に挑戦していきます。乞うご期待！

ワーカー鷹来

協賛企業特集② 八幡ねじ

今回は、北名古屋市にある協力企業の「株式会社八幡ねじ」様からいただいた仕事について紹介します。現在は主に部品を組み立てたり、袋詰めしたりする仕事をいただいています。



▲こんなにたくさんの種類の仕事があります

①TA・TB・EB/ジョイント スクリューという部品の仕事
この仕事は、説明書を折る人、ねじ、ワッシャーを必要数入れる人、ホッチキスで綴じる人、検品する人で分担して行います。



皆さん熱心に取り組んでいます

②セットホルト組み立て
セットホルトは、すべての部品を一人で組み立てます。大きさが違うワッシャーや向きの間違えや正しいナットに苦戦しつつも頑張っています。



教をまちがえないように

一つひとつ丁寧に

どの作業にも納期があります。納期に間に合うように、利用者の皆さんは日々真剣に取り組んでいます。



▲指先を使う細かい作業です

春日苑

今年も行ってきました！ 10月21日 名古屋シティハンディマラソン



▲完走！一生懸命走りきりました

10月21日(日)に久屋大通り公園にて行われた、名古屋シティハンディマラソンに5名の利用者さんが参加されました。朝から快晴で絶好のマラソン日和でした。以前にも参加したことのある方ばかりで、とても積極的に、また終始笑顔で楽しまれており、とても充実した1日でした。



▲上からも応援！がんばれ～

リハビリに 力を入れています！



▲足をとろ、右と動かします。「緩めてがんばる！」

私たちは、現在リハビリに力を入れています。理学療法士の指導のもと、利用者さん一人ひとりの日常生活動作の維持や体力作りを大切に、午前、午後各1時間ずつリハビリを行っています。

はじめは、職員からの声掛けで行っていましたが、今では利用者さんから自発的に、リハビリを行っている姿も見られるようになりました。今後も、利用者さんにとって大切なリハビリを継続してもらえるようにサービスを提供していきたいと思えます。



▶頑張るリハビリ中

誕生者外出で ボストン美術館へ



ボストン美術館へ
楽しかったぞ。
スポンジ、おはる
さつこ、山田 ちえ



▶「また外出に行きたいな」と笑顔の山田さん

●11・12月の行事予定

- 11月18日(日) 福祉のつどい
- 11月23日(金) 保護者会大掃除&もちつき
- 12月13日(木) レクの日

障がい者生活支援センターだより 地域自立支援協議会を 公開で開催

10月1日(月)に第2回春日井市地域自立支援協議会が、はじめて一般公開で行われました。傍聴席を設けたところ、数名の方々が参加してくださいました。

今回は、①今後の地域自立支援協議会の役割 ②各支援センターの実績報告 ③困難事例について、話し合いました。まだ、動き出したばかりで意見交換や情報交換ができていない部分もあるかと思いますが、春日井市に在住の方々に、より良い生活を送っていただけるよう意義あるものにしていきたいと思っています。

また、春日井市では10月から「障害」の表記が、原則(固有名詞・法令等除き)として「障がい」に変わりました。

【お問い合わせ】

TEL (0568) 88-7637
FAX (0568) 88-5704
Eメール: kasugasen@mc.cw.ne.jp

担当 渡辺・住岡まで

とよた苑

妙技にドキドキワクワク

10月4日(木)にだんらん皿回し友の会の方が慰問に来てくださいました。

男性3人組の軽快なトークと華麗な技で会場は大盛り上がり。陶器の皿を回した時は見ているこちらがドキドキしました。

その後、利用者さんや職員にも体験させてくれました。コツは教えてもらったのですが、なかなか難しく、見るのとやるのは大違いです。

11月にも慰問に来ていただけるので、プレゼントでいただいた皿回しセットで練習して夢の共演??を実現させましょう。



♪よーい名人芸

秋の味覚に感謝

「秋」といえば皆さん何を思い浮かべますか? スポーツ、芸術、いろいろありますがやはり、「食欲」の秋ですよね。とよた苑でも旬の味覚をおいしくいただきました。

まずは炭火で焼いたアツアツのサンマ。魚が苦手な利用者さんもしっかり召し上がっていました。



▲こんなにたくさん採れました

利用者作品展



◆習字クラブ◆



◆生花クラブ◆

居宅介護支援事業所

具体的な目標を持つこと

59歳のMさんは数ヶ月前まで主婦として、また息子の経営する飲食店を手伝う活発な女性でしたが、突然の脳出血で倒れて身動きひとつできなくなっていました。しかし、Mさんは諦めてはいな

地域包括支援センター

介護者教室で体力測定実施

市役所から圧力計、手放し棒をお借りして体力測定を行いました。参加された方々には、自分の体力の程度を理解していただき、転倒予防や筋力アップ運動を自主的に継続して行うことが大切であると呼びかけました。

今後定期的な体力測定を行い皆さんの健康維持に努めていきます。

新任職員紹介(11月1日付)

特養



介護職員 池野 美香

福祉用具貸与事業所



福祉用具貸与事業所 吉本佳代子

ったのです。リハビリ病院で必死に努力し、退院後も右手脚のマヒは残ったものの、毎日の歩行練習は欠かさず行うばかりが、左手で包丁を握り温かい食事を作って家族の帰りを待つまでになりました。次の目標は、異方でも良いから店に行つて手伝うことだそうです。「なりたい自分をしっかりとイメージすること」これが目標を実現する早道かもしれませんね。

ヘルパーステーション

私の好きなこと

ヘルパー活動で、火・水・金と訪問しているSさんの家には、大切そうに布袋に入れたケイナがあります。

これはどうしたのですかと尋ねると、「何でできているかわかるか？ピニールパイプだよ！」と笑いながら教えてくださいます。大工をしていたSさんは、それを自分で作ったのだそうです。

奥さんを亡くし、さみしそうなSさんですが、時には少し照れくさそうな顔をしてケイナを吹いてくださいます。その時のSさんは得意そうに、晴れやか。私の好きなことは、これだと言わんばかりに。

福祉用具貸与事業所

お風呂を快適に

お風呂は誰が入っても気持ち良いもの。今回はお風呂で役立つ浴槽台をご紹介します。

浴槽台は踏み台として利用できるだけでなく、椅子としても利用できます。例えば浴槽の外で体を洗う時に、浴槽台に座る使い方があります。

介護保険を利用して購入することもできますのでお気軽にご相談ください。

ケアハウス豊田

季節の花に囲まれて



▲30万本のコスモスを見に行こう

10月31日(水)、安城市にある安城産業文化公園「デンパーク」に

◀木陰が涼しくて気持ちいいね



▶マリゴルト、タイトム、サルビアに囲まれて



▲地ビール工房でおいしいビールをいただきました



日帰りツアーに出掛けました。花と緑あふれる園内は秋色カラーの花々が秋らしさを演出していました。「とーってもいい風」[♪]と花の香りと一緒に深呼吸しながら散策開始

「これは何の花だろうね?」「まあー!黄色一色だね。」とじっくり花を觀賞された方、「こここの地ビール、おいしいかったよお。」と食事や買い物を楽しまれた方、それぞれに過ごされました。帰りのバスの中では「本当よかったです。」「楽しかったよ。」と皆さん口をそろえておっしゃっていました。

紅乙女



10月6日(土)、5月に植えたさつま芋も収穫の時期となり、芋掘りを行いました。「私、初めて芋ほりするんだよね〜」、「掘るの楽しみだったよ。」と土の中から出てきたさつま芋を傷つけないように慎重に掘っていました。皆さんそれぞれに収穫する喜びを味わっていました。



▶二輪車3台分のさつま芋を収穫

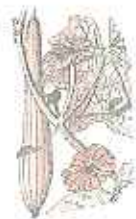


芋掘りコマ楽しいな▶

ヘチマコロンで

ほてりを癒す

ヘチマを収穫し、化粧水を作ってお風呂の脱衣場に置きました。皆さん入浴後にご利用してくださり、ほてった顔にしっかりと馴染み、日々若返りを楽しみにされています。



とよた苑デイサービス

ナースのお仕事

デイサービスでは、利用者さんの健康管理、機能訓練、軽症の処置から医療的処置までを看護職員一同で行っています。

利用者さんの状態を把握して声に耳を傾け、ふれあいを大切に、手の届く看護や介護を心掛けていきます。利用者の皆さんがデイサービスで心身共にリラックスされ、日々快適に充実した生活を過ごされますよう支援して参ります。



習字作品



▲利用者さんの健康管理はまかせてください

とよた苑訪問入浴

長期利用者さんに感謝

とよた苑訪問入浴が始まり、1年7か月が経ちました。これまで、様々な出会いや別れがありました。

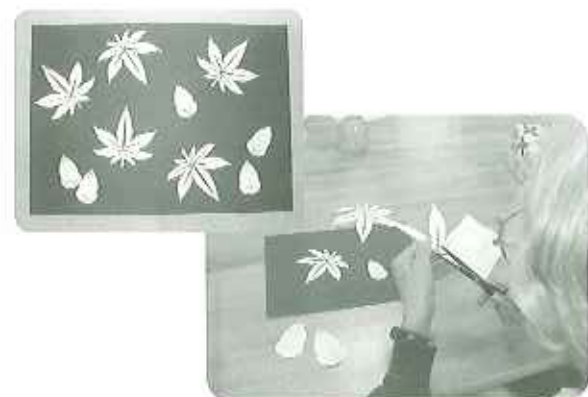
現在、訪問入浴を一番長く利用されているMさんは、今月でちょうど1年になります。利用当初は、トラブル、ハプニングでご迷惑をかけてしまいました。今は、一番流れがスムーズです。特に看護職員とMさんの奥さんの連携は見事。まるで、中日ドラゴンズの荒木と井端。あうんの呼吸です。私達の成長は、Mさん夫婦なくしてはありえません。Mさん夫婦に感謝しつつ、よりよいサービスを目指していきます。

東山デイサービス

切り紙に挑戦

東山デイサービスでは、紅葉やどんぐりの切り紙をして秋を満喫しています。

利用者さんは、「細かい作業で目が疲れるけど手のリハビリになって、とてもいいです。」と意欲的に取り組んでいます。葉の細かいギザギザの部分も丁寧な仕上げで上品な作品ができあがりました。見入っている利用者さんたちからも「素敵な作品だね。」「秋を感じるね。」と好評です。



▲目を見張る芸術です

大正琴の音色で和みの時間



▲癒しの音色を奏でます

昼食後のひととき、大正琴を弾いて楽しんでいる利用者さんがいます。

「昔みたいに指が動かないんだよ。」と照れながらも「船頭小唄」「荒城の月」、「さくらさくら」などレパートリーは豊富で、次々に演奏して和やかな雰囲気にしてくださいます。

利用者さんが、かつて体験したり学んだりして身につけている趣味、興味、関心事を活かして楽しめる時間をこれからも大切にしていきます。

養護若草苑

昔懐かしい焼き芋の味

若草苑内の桜の木の落ち葉を利用して焼き芋を作ってみました。

利用者さん達は皆、目を輝かせて準備に大忙し！芋を洗う人、新聞紙を用意する人など、皆さんで分担しながら行いました。洗った芋を濡らした新聞紙で包み、さらにアルミホイルで包みます。それを落ち葉ともみ殻の中に入れて待つこと一時間、ほくほくの焼き芋のできあがり！皆さん口々に「おいしいねえ〜」、「おかわりは何本でさるの？」とうれしそう。本当に秋晴れの中、楽しい1日を過ごすことができました。

また落ち葉があるので、次回の焼き芋も利用者の皆さんは楽しみにしているそうです。



▲できあがりを楽しみな



▶ほくほく、おいしいよ〜

盛り上がった文化祭で エネルギーター電



▲吹奏楽部の演奏すばらしいわ

▼来てよかったわ



10月27日(土)、毎月交流のある崇化館中学校の文化祭にご招待いただき、利用者さん・職員22名で行ってきました。

ボランティア部会の発表では、若草苑との交流時の活動発表があり、また吹奏楽部の演奏には皆さん感動。中学生とは思えない文化祭の盛り上げ方はとてもすばしかったです。

参加した皆さんは、若い子からエネルギーターをたくさんもらい帰苑しました。

若草苑デイサービス

楽しく踊って 若返ったよ!!

10月31日(水)、殿姫チンドンの皆様が来苑されました。10人のメンバー中には利用者さんより年上の方もいらっしやるとのことでしたが、皆さん色鮮やかな衣装と歌と踊りで楽しませてくれ、利用者さんの表情がとてもしきいきました。



▶殿姫チンドンのカフプルな衣装に釘付け

10月31日(水)、殿姫チンドンの皆様が来苑されました。10人のメンバー中には利用者さんより年上の方もいらっしやるとのことでしたが、皆さん色鮮やかな衣装と歌と踊りで楽しませてくれ、利用者さんの表情がとてもしきいきました。

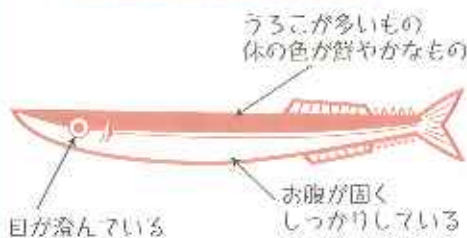
魚を食べよう!

10月23日(火)に栄養士による魚の栄養について講話を行いました。日頃魚の苦手な利用者さんがとても熱心に聞かれていたのが印象的でした。

〈サンマの栄養〉

1. 血中コレステロール値の低下
2. 中性脂肪の低下
3. 脳の活性化・認知症の予防
4. 視力の向上
5. 動脈硬化・脳卒中の予防
6. ガンの発生の予防

魚を選ぶポイント



▼さすが演奏も上手



▲花笠音頭で心ウキウキ

サンホーム豊田

より良い生活のために



▲行事の感想を述べる利用者さん

サンホーム豊田では、利用者ミ
ーティングを、男性・女性、それ
ぞれ月1回行っています。利用者
さんに行事の感想をのべてもらっ
たり、日常生活で困っていること
うれしかったこと、要望などを話
し合ったりしています。

今月は、運動会の感想、12月に
行うクリスマス会などについて話
し合いました。皆さん、積極的に
様々な意見を出してください、充
実した話し合いになりました。

芋掘りゲーム大会

10月10日(水)、レクリエーショ
ンにて「芋掘りゲーム」を行いま
した。

たくさんカラーボールが入っ
た大きな桶の中に、さつま芋を隠
したところでゲームがスタートで
す。隠された「芋」を早く見つけ
ることができるよう、男女対抗で
競い合いました。圧倒的な強さで、
女性チームが勝利をおさめました。
利用者の皆さんに、秋を感じてい
ただくことができたのではないで
しょうか。



▲芋はどこかな～

今月のクラブ活動 造形クラブ



▲毎週木曜日、陶芸等を通して
創造性、自発性、協調性を
養います

●11・12月の行事予定

- 11月18日(日) 豊田市福祉健康フェ
スティバル
- 11月22日(木) お楽しみ外出
- 11月25日(日) 豊田マラソン
- 11月29日(木) 生活基礎班外出

生活介護事業

親子のふれあい

10月16日(火)に保護者の皆様を
お招きし、運動会・音楽発表・茶
話会を行いました。1年以上かけ
て練習した音楽、コツコツ準備し
た装飾品：皆さんで少しずつ本番
に向け頑張ってきました。

当日は緊張している顔、一生懸
命な顔、うれしそうな顔、そして
達成した輝いた顔：と皆さん様々
な表情を見せてくれました。失敗
もしたけれど、とても良い1日で
した。生活介護のほんの一面を、
保護者の方と共有でき、この機会
をまた次につなげていきたいと思
います。



▲1年以上の練習の成果を全揮

海外研修
レポート

ソウエイヒクラブ海外研修 障害福祉コース（デンマーク・スウェーデン） 〜後編〜

春緑苑ヘルパーステーション 副主任 田中靖久

9月12日（水）スウェーデンでの2箇所目の視察先1979年設立の民間のリハビリセンター「SOLNA REHABILITATION」に向かった。驚いたのは「インストラクター（指導者）」も何らかの障がいを持っているという。スポーツを取り入れたリハビリプログラムが特徴であるということであった。この施設のモットーは「一人間（全体）を親よう」、「運動を好きになり、運動しよう」、「自分の障がいを知り、障がい者からの憧れの人になろう」、「自立して物事を行おう」とあり、会社のビジョンは、他の施設から「すごいリハビリをしている施設」



▲車いすで階段を降りる様子

と言われることだそう。確かに視察中、障がいを持つインストラクターに車いすでの階段降下や、悪路での後輪走行等を見せていただいた時は「憧れの人」のようにみえた。しかし、あそこまで車いすを自由に操作できるようにするには、相当な根気・努力が必要であると感じた。

ここでは本人にいくら障がいがあっても、器具を使って、自立した生活ができれば障がい者ではない、と考えられており、どちらかというとリハビリセンターというより、スポーツクラブにも見えた。

9月14日（金）、イギリスに到着し、午前はロンドン市内から約1時間程北にある「CARSHALTON DIAMOND CENTER」という脳性マヒ、自閉症等を持つ4〜65歳までの障がい者が乗馬によって治療を行う施設を視察した。スタッフ数は15名で利用者は300名と、とても多くの利用者がおり、250名の登録ボランティアの助力を得て、運営されている。

システムは簡単で、30分の乗馬時間を一つの時間割として、1人のスタッフ、1〜2人のボランティアの付添いのもと、クラブハウスでゆっくりと乗馬し、治療をするというものだ。イギリスには480箇所このような施設があり日本の白動申学校を思い出させる光景であった。



▲「CARSHALTON DIAMOND CENTER」乗馬のためのクラブハウス

午後からはロンドン市内にある肢体不自由障がい者の施設「RANDALL CLOSE DAY CENTER」を視察。

行政が認めた利用者しか利用できない施設で、1日50名が治療・就職のための訓練をしている。

利用料は日本と同じように利用者の資産・貯金・介護度によって支払う料金が異なり、1日10ポンド（約2500円）支払う利用者から無料の利用者（全体の約4割の利用者）までいる。

イギリスの国民の多くは貯金をせず給料が入ったらすぐに使ってしまうとのこと、施設に入所すると500万円以上貯金がある場合、その貯金を利用料として支払わなければならないので、貯金が

あると損をすると言う国民ばかりだが、確かに税金を多く納め、コツコツ貯めた貯金まで無くなると考えるとこの生き方は納得もできそう。

まとめ
北欧は「ゆりかごから墓場まで」と言っていた国が「胎児から墓場まで」と改名された社会保障の国と言われている。国民は給料の30%を税金で収め、会社側もその職員の給料の40%分の税金を納める。このように多額の納税をしているので、「胎児から墓場まで」と言われるのが当たり前のようには思えた。

日本は利用者に対して、「何かしてあげなくては？」と考え、手を差し出してしまおう部分がある。しかし、北欧では、利用者自身が「私には何ができないか。」ではなく、「私には何ができるのか？」を常に考えるように働きかけていることがよくわかった。それぞれの国によって福祉に対する環境・概念・文化が違うのは当然で、ただ真似をすれば良いというわけではなく、我々も今あるそれらを理解した上で独自のものも創りあげなくてはならないと感じた。



▲「RANDALL CLOSE DAY CENTER」はオーケションアライメントが決められる

海外研修
レポート

マドリッド海外研修 （スペイン・ポルトガル）

～前編～

地域包括支援センターとよた苑 副主任 稲垣 真弓

9月22日(土)から9月30日(日)までの9日間、スペイン・ポルトガル・フランスの福祉施設を視察しました。その概要を報告します。

9月22日(土) 成田を発ち、飛行機を乗り継いで24時間かけてスペインのマドリッドに到着。すばらしく芸術的な駅が迎えてくれました。マドリッドは朝7時30分に日の出、夜は21時30分が日没のため、朝遅く夜遅い生活習慣に驚きました。

9月23日(日) プラドの美術館に行きました。日曜日は入館料が無料のため長蛇の列ができていました。芸術を楽しむことが出来るよう配慮されているとのこと、すばらしい園だと感心



▼プラドの世界美術館

しました。次に世界遺産のトレドを見学し、13世紀の建築物の重厚感を感じました。

9月24日(月) マドリッド市内の私立の幼稚園を見学しました。スペインでも少子高齢化が進み、高額な税金のため共働き夫婦が多く、合計特殊出生率は1.0人を切ってしまうほどだそうです。

この幼稚園の教育方針はすばらしく印象的でした。「他の園児とは比較しない、比較の対象は自分である。」「昨日より今日を向上させる。」「人生において大切なことを分析する価値観を養う。」など、その子供たちのように成長して



▼私立幼稚園の園長と子どもたちの作品の前で

いるのか関心を持ちました。今の日本の子供たちは、すべてが比較対照され、成績重視で、できない子供たちは置いていかれるのが現状です。40人体制の学級で1人の教師が必死で教える教育方針、今後の日本の教育はこれでもいいのだろうかと考えさせられました。

午後からはマドリッド市内のマノタラス老人ホームを見学しました。州立の施設は州によって経営方法が独自で、現在は60歳以上の方400名が入居されています。平均年齢は85歳で入居者の男女の比率は75%が女性でした。わが施設と同じくらいの平均年齢と男女の比率に、どの国も同じ問題を抱えているのだと思いました。



▲マノタラス老人ホーム前で。27名の研修参加者と

この施設の利用者は年金の90%を利用料金として納めています。しかし、年金だけでは経費の15%しか賄えず、不足分は州からの補助により経営されています。1人

の利用者にかかる経費は日本円で月に53万円と高額でした。

自立を促し、生活の質を向上させるために専門家（医療従事者、精神科医、弁護士）も一緒に、充実した支援が提供されています。自分たちの施設に対する自信は、質の高いケアを定着させ、各職種に対しても高度な専門性を要求し、確立されているところから生まれているのではないかと感じました。

また経営、健康管理、機能訓練も積極的に行われ、特に機能訓練は充実したスペースの確保、機能訓練士による個別的な機能訓練がされており、今後の日本にも必要不可欠と感じました。

施設内は白室、廊下、厨房、ボイラー室までも清潔感に満ち溢れ、整理整頓が徹底されています。職員のおわたたしい動きや、話し声なども少なく落ち着いた環境でした。私たちの施設の環境作りに役立てていかなければならないと感じました。



▲マノタラス老人ホームの食堂

(後編へ続く)

支えていただいた方々

10月1日〜10月31日 敬称略、順不同

春日井グループ

春緑苑

特 産

武内彦代子、前野米澄、寺西真由美、前田和正、山本浦了、堀田美智子、伊藤義次、立川紀子、伊藤勇夫、伊藤鈴江、高木建、河野イリス、フオム

多田まき子、服田マホ子、イヌイ芽祭、大西美栄子、岡島美よ、川越奈子、古田イク、流澤まこ、内山千代子、鷲津清夫、伊藤千代、愛知総合看護福祉専門学校、園戸シゲ子、英藤たかの、堀垣ふき子、大西美栄子、松井くに、藤村生子、井村輝アキラ、フオム

森の会、斎藤若子、斎藤まじ、江川用未衣子、熱田陽美、日比野由津子、嶋田幸子、山田唯美、古原白子、松岡加代子、小林弘子、中岡豊子、中岡真智子、金井康久、日比野恵美子、西山智子、畔柳邦子

心を明らう会、山本佳乃、山田清治、駒村美枝子、立川紀子、中野公一、杉崎了、森宮子

ももりの会、フオム、伊藤美子、赤坂千枝、まよばね、落合徹子、大井良子、大西美栄子、はぐくまの会、嶋田寿美子、近藤幸江

藤の会、中野光子、山下和子、玉井加代子、トビエリス、茶室、尾崎理恵

意味知会、飯下阿古、香田美智子、鈴木和子、松尾道代、つよよの会、原口武子、長尾紀子、保井井恵子、古田和子、武野了、津あけみ

豊家会、大野豊家、伊藤佳子、大津千恵子、内藤了、江平、礼代

日A日クラ、丸地巴、坪井美恵子

ネオホリスの会、伊谷次雅子、加藤石子、藤波節子

個人、太西美栄子、武内彦代子、伊藤保子、田中徳子、大西尚子、栗本孝子、山本浦了、堀田美智子

アイサービス

ショートステイ
長谷部美智子、遠藤麗江、橋本敦子、嶋田房子、佐藤十郎、河合みづ希、長江政義、下田宏彦、長谷川美津子、笠松みず子

春日井グループ
春日井仲間会、高橋紀子、大石二恵子、小池美智子、道田静也、森田浩子、森邦子、各務美子、石川まきみ、山口浩子、山内美智子、堀田真子、平起智子、白木重子

居宅介護支援事業所
沢田真子子、小林はるへ、高柳カク、竹中陽枝

ケアハウス
他山まき子、宮下和次、井吉子、平野進、鈴木美子、藤垣房子、藤波千代子、加藤芳子、伊藤か子、江、伊藤節子、中岡真智子、太橋道子、嶋田八木子、堀部勢起子、木下了子、松浦俊了、真浦久子、山田春枝、堀田和夫、中川次枝

グループホーム
中岡真智子、中岡忠、畔柳邦子、嶋田幸子、山田唯美、伊藤健治、三鬼子、スガ、向村千、畔柳田寿子、只田優子、小松木真智子、大石富恵、栗本了、若原真子、栗田由美子、大谷みず子、若川友紀子

第2春緑苑
長谷川はる希、藤谷ひま子、出雲野、菊宮文子、松岡節子、大嶋まこと、水谷とし子、山谷道也、小住、山瀬敦子、山崎重子、妻城智代子、鈴木すず希、長谷川美子、アキラ、フオム、中見見香子

アイサービス
下津ホラシヤ、林ヒビ子、林陽子、林満子、林まき子

個人、三浦茂、山本浦子、堀田美智子

シコロトステイ

春日苑
我野弘人、見崎次、加藤健常、青山義典、荻野麻子、龍下利美、成瀬清治

フーカー倶楽部
五味すみ子

とよたグループ
淡交会、熊丸、釜山金光、林シゲノ、鈴木貞ら、たから五郎、回し友の会、伊藤ワケ、田澤ケン、外園アキ、樋口康之、浅野須美子、田中良子、古井みち子、東條清二、藤野鈴木清秋、古木正嗣、道田唯美、二宅シズ子、杉崎節子、井上二津江、地谷敬雄、藤津こう、竹内忠計、成田ハナコ、鈴木トシ子、高橋茂男、西山ヌノ、杉本カマキ、林シヨウ、中川あきさ、塩谷つや子、久米繁

とよた苑
河原良典、高岡敬、淡交会、12名、シスター、牧山シスター、木全、だんらん、田回し友の会、西口正明、西口真代子、酒野、蔵本田美智子、原口真由美、原口智樹、北原ヨシ子、木村文子、若宮中友会、6名

アイサービス
鈴木英市、塚本よき、形須清吉、大谷寛次、繁秋、寺澤和昭、鈴木八重、栗田みず子、栗田久子、中根あやの、神谷重

サンホーム豊田
近藤敏子、中島和津子、高須静枝、小島まなえ

生活介護
大山由波野々山、西美子、都ひる子、内藤美枝子

中村誠子、鈴木誠子、田田隆一、水田英

梅岡萬中、中村誠子、橋村家、鈴木清子、井藤西

正、加藤ミチ子、二島、竹内富子、竹内忠司、杉浦美代子、本井経治、大原一、鈴木清秋、中村家子、水澤まづ子、鈴木良子、野町幸恵、塚本よき、嶋田繁夫、安藤まき枝、藤橋久子、山本富子

高岡家子、古田由佳、松井美代子、須藤信子、ハシベレ、愛香、森本真由、今井嘉枝、鈴木富樹、上原和子、松平真由、松平みづ子、八幡川友の会

東山デイサービスセンター
古家節代、日比野下代子、森野聖、林五郎、木田君代、今井茂雄

若草苑
渡邊康順、中川邦彦

スーパーステイトマシヤ、シヤンズ、ゆいあひの会、崇化館中学校、スーパーステイトマシヤ、シヤンズ、ゆいあひの会、崇化館中学校

関と本、前谷真子、原たま江、前家八重子

坂崎いくよ、西敏道子、荒木節子、坂本住人、民高西橋会、野中チンドン

中村誠子、鈴木誠子、田田隆一、水田英

梅岡萬中、中村誠子、橋村家、鈴木清子、井藤西

秋といえば！ 運動会

春日苑



▶落花生を飛ばそうゲーム
皆さん夢中！



▶毎年恒例、CoCoきまごのわがしーゲーム。
おいしいわがしーをいただきます！



春緑苑

10月8日体育の日、あいにくの雨になつた
しまし、屋内での運動会になつてしましま
したが皆さんおけずりに盛り上がりました



▶アパハウスグループホ
ーム合同運動会
早く運動が楽しく輪を積
み上げて盛り上げ

サンホーム豊田



▲サンホーム豊田では、屋外で
盛大に運動会を実施。
楽しくダンスを踊ります。

▶各デイサービスでも運動会を実施。
主入れや秋の味覚送りゲーム、
パン食い競争など盛り上がりました



若草苑 デイサービス

10月といえばハロウィン♪
どうしてか仮装を取り入
れようとした

とよた苑



▲一つでも多く玉が入るように！
皆さん一生懸命

平成19年秋の叙勲

瑞宝小綬章受章

この度、当法人の理事安井俊夫氏が地方自治分野での功労をたええられ、瑞宝小綬章を受章されました。



安井俊夫理事
元愛知県教育長
地方自治功勞

表彰状・感謝状

平成19年度の各種社会福祉大会において以下の職員が表彰を受けました。

編集後記

ぐっと秋が深まってきた11月。今月の広報紙にも、運動会や収穫祭など、秋らしい行事の記事が盛りだくさんです。これからは、冬に向かってどんどん寒さが厳しくなっていくでしょう。風邪やインフルエンザなどに注意して寒い冬を乗りきりましょう。

この広報紙に掲載した個人情報は、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。

- 社団法人全国老人福祉施設協議会 表彰
- 浅見 伊勢子 (アパハウス春緑苑 施設長)
 - 池部 よし子 (春緑苑アパハウスセンター 介護職員)
 - 愛知県知事 感謝状
 - 本莊 幸子 (アパハウス春緑苑 介護職員)
 - 粕谷 光代 (特別養護老人ホーム第2春緑苑 課長)
 - 廣爪 美穂 (特別養護老人ホーム上苑 副主任)
 - 愛知県社会福祉協議会会長 感謝状
 - 澤木 規昌 (法人事務局 事務局長)
 - 吉山 厚子 (特別養護老人ホーム春緑苑 主任)
 - 土屋 加代子 (特別養護老人ホーム春緑苑 調理員)
 - 長谷川 かよ子 (春緑苑短期入所施設 副主任)
 - 余村 和子 (身体障害者更生施設春緑苑 主任)
 - 小池 さゆり (身体障害者更生施設春緑苑 副主任)
 - 柴田 裕子 (特別養護老人ホーム上苑 看護職員)
 - 高見 智美 (特別養護老人ホーム上苑 副主任)
 - 三浦 知美 (東山アパハウスセンター 介護職員)
 - 伊中 知華 (東山アパハウスセンター 副主任)
 - 大竹 山美子 (短期障害者支援センター豊田 主任)
 - 春日井市長 表彰
 - 伊藤 芳次 (法人事務局 次長)
 - 大川原 家栄子 (春緑苑ヘルパーステーション 課長)
 - 鈴木 さき枝 (身体障害者更生施設春緑苑 主任)
 - 春日井市社会福祉協議会会長 表彰
 - 井上 豊 (ワーカー 施設長)
 - 西田 邦子 (特別養護老人ホーム春緑苑 主任)
- 山 中 徳 也 (瑞宝小綬章受章センター 事務局長) 課長
春日井市社会福祉協議会会長 感謝状
- 吉岡 三行 (特別養護老人ホーム春緑苑 看護職員)
 - 高橋 希代子 (特別養護老人ホーム春緑苑 看護職員)
 - 藤原 早織 (特別養護老人ホーム春緑苑 副主任)
 - 細野 良太 (特別養護老人ホーム春緑苑 介護職員)
 - 土本 友香 (特別養護老人ホーム春緑苑 介護職員)
 - 荒井 みどり (特別養護老人ホーム春緑苑 介護職員)
 - 森山 淳 (特別養護老人ホーム春緑苑 介護職員)
 - 善家 理恵 (春緑苑短期入所施設 副主任)
 - 菅原 政江 (春緑苑アパハウスセンター 介護職員)
 - 近藤 勇樹 (春緑苑アパハウスセンター 介護職員)
 - 山本 雅子 (春緑苑アパハウスセンター 介護職員)
 - 水野 雄也 (瑞宝小綬章センター 春緑苑 副主任)
 - 丹羽 宏 (アパハウス春緑苑 副主任)
 - 市岡 美奈子 (アパハウス春緑苑 介護職員)
 - 伊藤 真由 (特別養護老人ホーム春緑苑 副主任)
 - 竹田 真己 (特別養護老人ホーム第2春緑苑 副主任)
 - 大藪 愛子 (特別養護老人ホーム第2春緑苑 副主任)
 - 森田 智子 (特別養護老人ホーム第2春緑苑 介護職員)
 - 木村 香織 (瑞宝小綬章センター 春緑苑 副主任)
 - 多治見 明子 (瑞宝小綬章センター 春緑苑 副主任)
 - 野村 奈都恵 (身体障害者更生施設春緑苑 介護職員)
 - 山田 可余子 (身体障害者更生施設春緑苑 介護職員)
 - 中場 ゆりか (身体障害者更生施設春緑苑 介護職員)
 - 本田 洋基 (法人事務局 事務員)
 - 楠垣 美子 (法人事務局 事務員)